

松本糸魚川連絡道路 大町市街地区間 地区説明会 質疑応答要旨

令和7年12月9日(火) 18時30分～20時30分

場所:上一基幹センター、対象自治会:上一、上一住宅

○質問1

国道147号の林薬局南側からカインズホームの間は、松糸道路の盛土の下になるのか。

●回答1(大町建設事務所)

国道147号は松糸道路の下を交差する構造になる。乗り降りするランプが国道147号に取り付く、盛土部は50～60mくらいの影響幅になるが、カインズホームまでは影響しない。

○質問2

国道147号のインターがハーフインターとなった理由について教えてほしい。現状で、自宅の前の道路(県道有明大町線)は交通量が多いことから事故が多く、この計画で整備されると松本方面に行く車がさらに増え、事故が増えることが懸念されるがそこは考慮しているか。

●回答2(大町建設事務所)

大町市とも協議を行い、利用状況を考慮し、県道有明大町線を有効に使ったランプ形式とする案を検討した。上一北交差点に向かう県道有明大町線は、元々利用が多かつたが、今後松糸道路が整備されると通過する車両は本線を利用するため、上一北交差点を経由する車は減ると考えられる。整備された場合の交通の流れとしては、安曇野方面から来て松糸本線を降りた車の国道147号への右折と本線へ乗る車の左折の流れが多くなる見込み。また、松糸道路を白馬方面から南下する車は、国道へ右折する車と、国道から本線の白馬方面へ左折していく車が多くなる見込み。警察にも相談し、乗り降りの交通を1つの交差点にはまとめずにそれぞれ分けることで、スムーズな交通が確保できるということもメリットと考えこの構造で計画した。

○質問3

交通量が減る場合、スピードが上がるのではないか。危険性を認識して検討しているのか。

●回答3(大町建設事務所)

ご意見を踏まえて、今後の設計の中で検討ていきたい。

○質問4

IC構造が複雑なので、糸魚川方面へ行こうと思ったのに、上一北交差点から松本方面に向かってしまった場合に逆走する恐れがあるのではないか。

●回答4(大町建設事務所)

逆走防止対策として、案内標識や逆走防止の看板等は今後の設計の中で検討していきたい。具体的にどういう見え方になるのか 3Dモデル等を活用して検討を行う予定。

○質問5

この道路はいつ通れるようになるのか。

●回答5(大町建設事務所)

今回示したルート線に対し、地域の皆さんからの理解がいつ得られるかが不透明なため、現時点
で具体的な時期はお答えできない。

○質問6

順調に進んだ場合、どれくらい期間がかかるか教えてほしい。

●回答6(大町建設事務所)

地域の理解を得られるまで、今後も説明会を繰り返し開催していくが、期間はわからない。参考に、
安曇野道路では、R4 に事業化して 3 年経って用地交渉に着手している。小谷村の雨中・月岡バイ
パスの開通までの工事期間は、2km の整備に 10 年以上かかっている。

○質問7

盛土構造を基本としており地域分断が懸念されるが、具体的な策はあるのか。工法は変わる可能
性があるということか。

●回答7(大町建設事務所)

地域分断の懸念があるという意見があれば、事業実施段階において構造を見直していきたい。今
回示した工法は決定ではなく、今後、変更となる可能性は十分ある。

○質問8

資料の中で検討とあるが、検討の結果は行政が決めていくのか、逐一説明をしてくれるのか教えて
ほしい。

●回答8(大町建設事務所)

必ずしも全部を説明するわけにはいかないが、行政だけで決めるわけでなく、意見交換をしていく
中で、地域の皆さんの意見を踏まえていくという思いで、検討という言葉を使っている。

○質問9

騒音の環境基準について、昼間の値が環境基準の 60dB に対して 59dB とあるが、環境基準を越
える恐れがあるのではないか。

●回答9(大町建設事務所)

今回予測した箇所は盛土の先端部分とそこから 15m の位置であり、現時点ではギリギリであるが、
道路構造が確定した段階で、住宅が近接する箇所等では改めて騒音予測を行い、それでも超える
場合には、防音壁等の対策を検討していく予定。

○質問 10

幹線道路は住宅街を避けて作ると聞いているが、松糸道路は住宅街を通るルートとなっているのはなぜか。

●回答 10(大町建設事務所)

他のルートと比較し、評価項目を決めて、結果に基づき決めたものである。住宅の移転は多いと考えているがそれ以上のメリットがあると考え決定している。

○質問 11

資料の中に予算がないが、予算規模はどれくらいか教えてほしい。

●回答 11(大町建設事務所)

事業費については、今後、道路構造が変更となる可能性もあるため、現時点では算出していない。

○質問 12

盛土は 6m と聞いていたが、7~10m となっている理由を教えてほしい。

●回答 12(大町建設事務所)

昨年度までの説明会では、盛土構造の1例として、高さ6mの絵を資料に掲載していたことはあつたが、盛土の高さが一律6mになるとは説明していない。昨年度中に現地の測量を実施したことにより、各地点でのおよその盛土高が判明したため、今回はそれを示させてもらったもの。

○質問 13

上一北交差点は渋滞が多いと考えているが、国道 147 号北ハーフが出来て、松糸道路から国道 147 号に出るのに、上一北交差点の量が増えるのかと懸念している。また信号はつくのか。

●回答 13(大町建設事務所)

大町市街地へ向かう車は松糸道路で次の有明大町線 IC へ向かうので、上一北交差点を使う車は減ると予測している。警察とも事前に打合せを行なったところ、現時点では信号機を設置する予定であるため、上一北交差点と国道 147 号北ハーフの信号時間を調整し、交通量に応じた効率的な信号処理となるよう警察にも要請していきたい。

○質問 14

盛土構造も今後変わるかもしれないこと、環境基準がギリギリでこれからどうなるかわからないこと、予算もこれから算出すること等、基本的なことが曖昧となっているという印象を受ける。

●回答 14(大町建設事務所)

昨年度までの説明会を通じて、実際どこに道路が通るのか具体的に示してもらわないと判断ができないという意見が多く寄せられていたため、今回は具体的なルート線を示したうえで、あらためて地域の皆さんからの意見を伺うということを目的としている。その他の詳細については、事業実施段階に移行した時点でしていく予定。

○質問 15

国道 147 号南ハーフランプのところで県道を横断していた市道は横断できなくなるということか。具体的な構造を教えてほしい。

●回答 15(大町建設事務所)

これまで使っていた市道の機能回復については今後検討していく。

○質問 16

騒音について、起点部は坂を登っていく必要があるためエンジン音も大きくなることが考えられるが、問題ないか。

●回答 16(大町建設事務所)

起点側は盛土 6m 以下となることが考えられる。今後具体的な設計を進めていく中で、騒音の予測を改めて行い、環境基準を超えるようであれば、周辺に防音壁を設けたりして、環境基準以下に収まるような対策を検討していく。

○質問 17

盛土道路は雨と地震に弱いと聞くが大丈夫か。盛土の土はどこから運ばれるのか。また、新潟県では中越地震以降、盛土構造は採用しないで高架構造としていると聞いた。

●回答 17(大町建設事務所)

国土交通省では令和 6 年能登半島地震の被害も踏まえ、盛土構造を設計する上での技術基準が改定されており、これらの基準に沿って設計・施工を行えば、大地震リスクは大幅に軽減されると考えている。また、盛土構造は地震が起きた際の早期復旧が可能というメリットもある。盛土の土はどこから運ぶのかは、現時点では決まっていない。

○質問 18

盛土の範囲は用地買収になることはわかるが、その外側はどこまで用地を買収するのか。

●回答 18(大町建設事務所)

側道計画が確定していないため、どこまでが用地買収となるか回答できない。参考として、用地買収の余裕幅は市街地で 50 cm、山間地で 1m 程度を採用するケースが多い。

○質問 19

松糸道路の完成後の騒音も問題であるが、工事中の騒音を何年も広範囲に影響を受ける人たちがいる。生活苦への考慮は考えているか。騒音という日常的な苦痛のもとで生活する人がいることへ配慮して欲しい。検討するのであれば早めに示してほしい。あらかじめ調査して示してもらわないと、生活への影響がどの程度か判断できない。

●回答 19(大町建設事務所)

10 年以上の工事が考えられ、工事中はご迷惑をかけることになるが、工事期間中は施工業者と

連携し、可能な限り騒音の軽減を図っていきたい。ご意見を踏まえ、工事中の騒音予測の実施について検討していきたい。

○質問 20

大気汚染についても、調査してほしい

●回答 20(大町建設事務所)

ご意見を踏まえ、工事中における大気汚染予測の実施について検討していきたい。

○質問 21

工事費を捻出するために税金負担が増える可能性はあるのか。土地も取り上げて、税金も上がる
とデメリットしかない。

●回答 21(大町建設事務所)

県の事業費や国の補助金を使うため、松糸道路のために、直ちに市の税金が増えることは無い。